部長会議付議事案書 (報告)

(令和4年12月15日) 提案課名 健康づくり課 報告者名 和田 安弘

事案名

産科有床診療所等の開設に向けた市有地の賃借申込みについて

有

資料

無

提案趣旨

令和4年11月1日付け(同月9日収受)で、医療法人から、「分娩取扱施設としての病床の確保」と「開設に向けての準備要件が整うこと」を前提として、産科有床診療所等の開設に向けた鈴張町地内の市有地の賃借の申込みを受けましたので、報告するものです。

1 背景

本市は、総合計画において「健康で暮らせるための地域医療体制の充実」を基本施策に掲げ、市内分娩取扱施設を支援するとともに、秦野赤十字病院における分娩業務再開に向け、優先的課題として同病院が取り組む産科医師の確保に協力してきました。

また、妊娠期を順調に過ごし安心して出産に臨み、その後の子育てにつながる 切れ目のない支援に向け、安心して出産できる環境づくりに取り組んでいます が、市民の妊婦の約7割が市外の施設で分娩している状況です。

こうした本市における産科医療の状況を改善するため、より身近な場所で安心 して分娩できる環境の整備に努めています。

2 医療法人の概要

医療法人葵鐘会(きしょうかい)は、愛知県を中心に、周産期一次医療機関として20の産婦人科をグループ経営という連携体制で事業展開を行っています。

- (1) 名 称 医療法人 葵鐘会 (理事長 山下 守)
- (2) 所 在 地 愛知県稲沢市小池4-122
- (3) 設 立 平成19年12月10日

経過

令和3年10月 新聞報道等で本市が分娩環境の整備に苦慮していることを知った医療法人からの問合せを契機に情報交換を開始

同法人が、本市における市内での分娩取扱施設開設の重要性と 緊急度の高さについて理解

令和4年11月 医療法人から「産科有床診療所等の開設に向けた貴市所有の土 地の賃貸借申込みについて」が提出される。

" 11月・12月 医療法人による地域医師会及び産科医会への挨拶

今後の進め方	1	令和5年1月		政策会議(基本協定の締結について)
	2	"		市有地の鑑定評価
	3	"		議員連絡会にて報告
	4	"		医療法人と「基本協定」の締結
	5	"	2月	評価会議
	6	"	3月	産科病床の承認(神奈川県)
	7	"		医療法人と「賃貸借契約」の締結
	8	"	4月	産科有床診療所開設許可申請(神奈川県)
	9	IJ	5月	まちづくり条例・建築確認申請等の手続き開始



秦野市長 高橋 昌和 様



産科有床診療所等の開設に向けた貴市所有の土地の賃貸借申込みについて

私たち葵鐘会は、高品質でホスピタリティにあふれる産科医療の国内での展開と、最先端の研究活動で医学の発展に貢献し、世界最高水準と言われる日本式周産期医療の海外展開に挑戦し続けることを使命としています。

また、日本最大の周産期一次医療機関として、地域の医療環境や社会情勢を認識しつつ、安心して産み、育てられる社会を目指し、全ての女性に寄り添いながら、現代的経営による事業展開を行っています。

2022年11月1日現在の従業員数は、医師、助産師、看護師など1,000人を超え、不足する医療資源の最適配置による産科医療の維持という大きな課題に向き合い、母子を取り巻くニーズにも幅広く対応するために、複数の施設を有するグループ経営ならではの連携体制で、高品質な医療とサービスを受けられる環境を提供しています。

そのような中、新聞報道等において、貴市が、秦野赤十字病院での分娩業務再開に向けた取組みや、市有地への民間病院の移転にあわせた産科開設の協議などを進められるも実現には至らず、長きにわたり出産環境の整備に苦慮されていることを知りました。

適切な分娩環境が損なわれていくという貴市の抱える懸案の解決と、弊会に出来得る貢献の場面が一致するのではないかと、2021年10月以来、貴市と意見交換を行い、相互に議論を深める中、貴市にとって産科施設の開設が市民の皆様のために、如何に重要であり、かつ緊急度の高い事案であるかを弊会として改めて認識し、解決に向けての方向性を共有するに至りました。

私どもの経験を活かしながら、貴市の地域特性に応じた産科医療施設を整備することで、 市民の皆様が安心かつ安全に出産を迎え、貴市の子育て施策等との連携などを通じてその 後の育児を家族と一緒に楽しめるよう、よりよい環境づくりに貢献できることを確信いた しております。

つきましては、これらを実現するために分娩取扱施設としての病床の確保ならびに開設 に向けての貴市との諸事準備要件が整うことを前提に、産科有床診療所等開設のため、貴 市所有の鈴張町地内の土地を賃借させていただきたくここにお願い申し上げます。